

令和6年5月29日

令和5年度学校法人浪速学院

浪速高等学校・浪速中学校事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I. 法人の概要

①教育方針・校訓・教育目標

○ 教育方針

本校の教育方針は、教育基本法に拠り、新教育の理念に則り、民主的、社会的、平和的、自主的、創造的な人格の確立を目標にし、我が国の精神と伝統の文化を重んじ、祖先の精神を受け継ぐ心を育むことに努める。

即ち、神社神道の精神によって、敬神崇祖の精神を養うと共に道徳心を以て社会の秩序を守ることを基本とし、未来に羽ばたく若者を育てることが本校教育の基調である。

○ 校訓

神社神道の理念である「浄・明・正・直」を校訓とし、生徒指導の基本とする。

○ 教育目標

校訓に基づく全人教育は教育の基本である。同時に生徒の才能と適正を開発し、学力体力の増進を図り、個性豊かで心身ともに健全な次代の日本を担う人間を育成する。

1) すべての生徒に人間性豊かな心を！

校訓のもとに徳性を涵養し、礼儀を重んじ、感謝の心をもつ生徒の育成に努める。

2) すべての生徒に学習の喜びを！

生徒の無限の可能性をひき出すために、基礎学力の充実を図り、主体的に学習させることにより、学習する喜びをもたせるよう努める。

3) すべての生徒に体力と気力を！

健康に留意し、「健康の自主管理」をモットーに体力の向上を図り、頑張りのきく体力、気力をもつ積極性のある生徒の育成に努める。

②沿革

1923年（大正12年）	財団法人大阪国学院により「浪速中学校」設立
1948年（昭和23年）	学制改革により「浪速高等学校」と改称
同年	浪速中学校併設
1958年（昭和33年）	「中学校」募集停止
1983年（昭和58年）	「理数科」設置
1985年（昭和60年）	「新総合体育館」竣工
同年	「中学校」募集再開
1989年（平成元年）	全教室「冷暖房」完備
1997年（平成9年）	普通科に「英数コース」、「総合コース」設置
2005年（平成17年）	高校男女共学・コース再編
同年	特進文科コース、英語集約コース設置
2007年（平成19年）	中学校男女共学スタート
2009年（平成21年）	校外宿泊学習施設「多聞尚学館」開館
同年	関西大学パイロット推薦制度指定校
2010年（平成22年）	校外総合運動場「浪速ふくろうスタジアム」竣工
2011年（平成23年）	法人名を「浪速学院」に改称
同年	「浪速武道館」竣工
同年	「新クラブハウス」「新カフェテリア」竣工
2012年（平成24年）	「千早清明寮」竣工
2013年（平成25年8月）	校内人工芝グラウンド 竣工
2014年（平成26年3月）	新校舎「東館」、新東門「天岩屋戸門」竣工
2015年（平成27年8月）	新校舎「中央館」竣工
2016年（平成28年3月）	新学院神社 竣功
同年	普通科「文理S1コース」設置
2017年（平成29年）	「至誠寮」竣工
同年	校外多目的総合運動場「美原スポーツキャンパス」取得
同年	「多聞尚学館」改修：「多聞ラウンジ」新設
2018年（平成30年3月）	「浪速ふくろうベースボールスタジアム」竣工 （「浪速ふくろうスタジアム」を野球専用球場に改修）
同年（平成30年3月）	「クラブハウス棟」増築
同年（平成30年3月）	「English Communication Labo」（ECL教室）新設
2019年（平成31年3月）	「浪速八咫烏庭球倶楽部」竣工

(テニスコート5面・クラブハウス)

同年(平成31年3月) 「浪速武道館」増築(空手道場「錬武館」拡張)

同年(令和元年8月) 「美原スポーツキャンパス」を「高天原スポーツキャンパス」に改称

同年(令和2年4月) 多聞果樹園・多聞楽舎完成

同年(令和2年9月) 校内全ての教室にWi-Fi環境整備完了

2021年(令和3年1月) 高天原スポーツキャンパス「浪速乾坤一擲ドリームフィールド(「Kフィールド」サッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場)」竣工

2022年(令和4年1月) 高天原スポーツキャンパス「産土ゴルフクラブ練習場(産土孔球倶楽部)」(シミュレーションゴルフ・打球練習場)竣工

2023年(令和5年3月) 別館・NS館(浪速真田丸館、地上3階建・6教室)竣工

③設置する学校

- ・ 浪速高等学校 全日制課程 生徒定員 2400名
(普通科 2400名)
- ・ 浪速中学校 生徒定員 360名

II. 法人会議

(1) 理事会

①令和5年度第1回理事会

開催日時 令和5年5月31日(水) 午後3時00分～午後4時50分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室(東館1F)

出席者 理事11名 監事1名

審議事項 ・ 理事長、常務理事より

「法人経営と校務運営の理事長、常務理事による総括報告」について

・ 理事長、常務理事の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和4年度決算（案）並びに令和4年度事業報告（案）
- ② 令和4年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 開校100周年記念事業総括
- ④ 新中学校棟建設計画について
- ⑤ 令和4年度学校評価について 他

②令和5年度第2回理事会（臨時開催）

開催日時 令和5年9月25日（月）午後3時50分～午後4時30分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館1F）

出席者 理事8名 監事1名

審議事項 ・提起・審議事項に関する各種報告について

- ① 授業料等及び入学金（高等学校・中学校）の見直し、学則変更（中学校 新入生納付金）について
 - ② 資金運用に関する検討について（「日本学生支援債券」購入）
- 他

③令和5年度第3回理事会

開催日時 令和5年12月19日（火）午後3時00分～午後4時30分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館1F）

出席者 理事9名 監事1名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和5年度中間決算（案）
- ② 令和5年度中間決算に係る監査報告
- ③ 株式会社設立について
- ④ 学校週5日制（週休2日制）の導入について
- ⑤ 令和6年度入試の進捗状況と今後の展開について
- ⑥ 学則変更（高校 教育課程：6ヵ年コース（Nコース）） 他

④令和5年度第4回理事会

開催日時 令和6年3月25日（月）午後3時00分～午後5時00分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館1F）

出席者 理事9名 監事1名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和5年度一次補正予算（案）並びに令和6年度当初予算（案）及び令和6年度事業計画（案）
- ② 教職員の給与水準の改定
- ③ 令和6年度入学者数入試総括
- ④ 令和5年度大学進学実績（令和6年度大学入試）

・重要審議事項

- ① 私立学校法の改正に伴う対応について
- ② 法人設立手続き状況（株式会社浪速教育振興、一般社団法人浪速学院校友会）
- ③ 学校週5日制 — 教職員週休変則2日制への移行準備状況

・人事に関する事項

- ① 令和6年度業務執行体制（管理職及び校務運営体制）
- ② 専任教員の採用について 他

（2）評議員会

①令和5年度第1回理事会

開催日時 令和5年5月31日（水）午後3時20分～午後4時00分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員31名 監事1名

諮問事項 ・理事長、常務理事より

「法人経営と校務運営の理事長、常務理事による総括報告」について

・理事長、常務理事の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和4年度決算（案）並びに令和4年度事業報告（案）
- ② 令和4年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 開校100周年記念事業総括
- ④ 新中学校棟建設計画について
- ⑤ 令和4年度学校評価について

②令和5年度第2回評議員会（臨時開催）

開催日時 令和5年9月25日（月）午後3時00分～午後3時40分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員24名 監事1名

諮問事項 ・提起・審議事項に関する各種報告について

- ① 授業料等及び入学金（高等学校・中学校）の見直し、学則変更（中学校 新入生納付金）について
- ② 資金運用に関する検討について（「日本学生支援債券」購入）
他

③令和5年度第3回評議員会

開催日時 令和5年12月19日（火）午後3時20分～午後4時00分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員23名 監事1名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和5年度中間決算（案）
- ② 令和5年度中間決算に係る監査報告
- ③ 株式会社設立について
- ④ 学校週5日制（週休2日制）の導入について
- ⑤ 令和6年度入試の進捗状況と今後の展開について
- ⑥ 学則変更（高校 教育課程：6ヵ年コース（Nコース）） 他

④令和5年度第4回評議員会

開催日時 令和6年3月25日（月）午後3時30分～午後4時30分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員25名 監事1名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和5年度一次補正予算（案）並びに令和6年度当初予算（案）及び令和6年度事業計画（案）

- ② 教職員の給与水準の改定
- ③ 令和6年度入学者数入試総括
- ④ 令和5年度大学進学実績（令和6年度大学入試）
- ・重要審議事項
 - ① 私立学校法の改正に伴う対応について
 - ② 法人設立手続き状況（株式会社浪速教育振興、一般社団法人浪速学院校友会）
 - ③ 学校週5日制－教職員週休変則2日制への移行準備状況
- ・人事に関する事項
 - ① 令和6年度業務執行体制（管理職及び校務運営体制）
 - ② 専任教員の採用について 他

Ⅲ. 事業の概要

1. 開校100周年「浪速改革 新世紀」始動

本法人は、木村理事長を招聘し、平成18年12月の着任以来、「浪速改革」を断行してきた。就業規則の改定・新人事制度並びに新給与体系への移行、人材育成・評価システムの導入等も含めて教職員の人件費抑制施策に踏み切る一方で、入試広報室へ経営資源を投入したきめ細かい生徒増加施策の展開により、財務体質の改善に取り組んだ。また、教職員の意思結集・一致協力のために学校の組織化と新たなマネジメントの実践し、新しい施設設備へ積極投資する広報戦略を展開してきた。これまでの教育環境整備の実践状況は次の通り。

- 平成18年12月 木村理事長 就任
- 平成19年4月 木村理事長、校長兼務 「浪速改革のスタート」
- ①平成19年8月 正門「改革の門」 更新
- ②平成21年4月 校外学習合宿施設「多聞尚学館」 開設
- ③平成22年6月 校外グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」 開設
- ④平成23年3月 武道場総合施設「浪速武道館」 竣工
- ⑤平成23年8月 クラブハウス棟（部室・教室・カフェテリア） 竣工
- ⑥平成24年8月 多聞尚学館「千早清明寮」 改修
- ⑦平成25年8月 校内グラウンド全面人工芝生化

- ⑧平成 26 年 3 月 新館（現西館）内部改修（中学校職員室、ボクシング道場他）
- ⑨ 同年 同月 体育館 改修
- ⑩ 同年 同月 新校舎「東館」（5 階建）・「天岩屋戸門」 竣工
- ⑪ 同年 同月 旧・学院神社 撤去（岩手県大船渡市移設）、神宮遥拝所 新設
- ⑫ 同年 同月 クラブハウス棟「体育教官室」 新設
- ⑬ 同年 同月 外部テニスコート 開設（1 年間）
- ⑭平成 27 年 3 月 多聞尚学館 大規模改修（外装更新・防水対策）
- ⑮平成 27 年 8 月 新校舎「中央館」（8 階建） 竣工
- ⑯平成 27 年 9 月 「トレーニングルーム」 新設、「西館音楽室」他 改修
- ⑰平成 28 年 3 月 「第 2 ボクシング練習場」 設置、「中学技術室」 設置改修
- ⑱ 同年 同月 西館外壁 改修
- ⑲ 同年 同月 「学院神社」 竣工、正門・外構工事 竣工

上記がこの 10 年に及ぶ経営改善の成果であり、平成 28 年 5 月 10 日の「新校舎・新学院神社竣工奉祝祭」御齋行をもって「浪速改革」第一ステージが終幕した。他校を追い越し、圧倒的に凌駕する燦然と輝く教育環境が整備され、「新しい学校の形」が完成を迎え、本校が未来永劫に亘って発展するための「浪速の礎」となり、浪速 100 年の新しい歴史が始まった。

改革 11 年目の 29 年度から第二ステージの幕が開き、時代は留まることなく移り変わり、12 年間の「浪速改革の成果」を享受しながら、30 年度は有終の美を迎えた。

31 年度は御代が替わり、「令和元年」の始まりとともに「浪速改革 令和新時代」は、令和 5 年度に迎える開校 100 周年に向けて、教育の中身の更なる充実発展に教職員一致団結して取り組んだ。

2. 教育トライアングルの整備・充実、有効活用

平成 28 年度に完成した 8 階建の新校舎「中央館」と三代目御本殿の「学院神社」は、「浪速改革」の集大成であり、「新生浪速」の象徴である。校内施設は、これまでに「浪速武道館」・「クラブハウス棟」・「人工芝グラウンド」が既に整備が完了しており、29 年度は新たに近隣に「至誠寮」が加わった。

この校内施設を中心として、校外の学習宿泊施設「多聞尚学館」、同じく校外の多目的グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」、これらの施設によって形成する教育トライアングルが文武両立の拠点となり、広報活動において大きな効果をもたらしてきた。

29 年度は、校外グラウンド「美原スポーツキャンパス」の取得を契機に、教育環境の更

なる整備に着手し、「多聞尚学館」は内外装・外構のリフレッシュ、「浪速ふくろうスタジアム」は人工芝生化に伴い多目的グラウンドから野球専用球場「浪速ふくろうベースボールスタジアム」に一新し、施設の整備・充実を図った。

30年度は「美原スポーツキャンパス」第1期工事として「浪速八咫烏庭球倶楽部」（テニスコート5面・クラブハウス）を整備し、女子空手道部発足に伴い「浪速武道館」増築した。

31年度は御代が替わり「令和元年」を迎え、「美原スポーツキャンパス」は「高天原スポーツキャンパス」と改称し、第2期工事としてサッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場「浪速乾坤一擲ドリーム・フィールド（Kフィールド）」の整備を着工し、令和3年1月に完成した。

続いて、第3期として「産土ゴルフクラブ練習場（産土孔球倶楽部）」整備に着工し、シミュレーションゴルフ・打球練習場が令和4年1月に完成した。更にアプローチ・パター練習場が同年5月末に完成した。

そして令和4年度は、新記録を樹立した生徒数の増加を受けて教育環境整備計画を一部見直し、生徒受入体制整備を優先する。西館北側渡り廊下に接続する別館・NS館（地上3階建・6教室）の建設に着手し、令和5年3月に完成した。

続いて、令和5年4月30日に記念すべき開校100周年を迎え、当日開催した記念奉祝祭・式典・祝賀会は本校の歴史において輝かしい節目を刻むこととなった。その後、同年7月よりこれに接続する新校舎・中学校棟（地上6階建）の建設に着手し、令和6年3月に基礎工事を終えた。同年秋頃には上棟式を執り行い、そして令和7年3月末に完成する。

これらを文武両立の拠点として、教育環境整備を進めていくとともに、令和6年度以降も引き続き生徒数の安定確保のために広報活動に有効活用していく。

3. 生徒募集

令和6年度（2024年度）生徒募集状況については、志願者ベースで高校2,292名・中学校383名となり、5年度募集と比べて少子化が進展下において高校は前年比+243名、中学校は前年比▲68名となり、大阪府下私学における上位校として存在感を示した。また、入学者ベースは高校が966名（前年比+66名）、中学校が140名（前年比▲8名）となり、高校及び高校・中学校合計（1,106名、前年比+58名）で今年も記録を更新した。この結果、令和5年度の在籍生徒数は3,089名（高校2,681名、中学408名）となる。令和5年度期首と比べて+128名となり、少子化進展下においても生徒総数3,089名も新記録

を樹立し、府内屈指の大規模校として地位を確立した。これは「浪速改革」17年間の取り組みが内外に評価された成果と言える。

令和7年度（2025年度）の生徒募集については、少子化進展下においても、過去の実績に驕ることなく地道な活動を続けていく。この「浪速人気」を不動のものとするため、入試広報部をはじめ本校で働く全教職員の総合力を結集し、これまで以上に直向きな取り組みを続けていく。

4. 類・科・コース並びにクラス数・生徒数

令和5年度の全校生徒数は2,903名となった。全校生徒に占める女性比率が39.6%と着実に増加しており、生徒総数2,900名を超える府内屈指の大規模校として、より付加価値の高い教育を提供し、しなやかで頼もしい浪速生を育成するために、「新学習指導要領」への対応を軸とし、教育の中身を進化させていく。教科指導とともに、教員は生活指導面において、緊張感をもって対応していく。

5. 学校運営体制

(1) 全般

令和5年度は全校生徒数が2,903名（前年度対比+243名）となり、常勤講師30名の教員を迎え入れ、教職員総合計198名（前年度対比+6名）で運営を行った。

(2) 管理職

令和5年度の管理職は、木村理事長が学院長兼務を継続し、そして、宮木常務理事が副学院長兼務を継続した。

令和4年度をもって退任する中村中学校長の後任として新たに西田中学校教頭を中学校長に任命し、飯田高等学校長は継続した。

山本高等学校教頭を中学校教頭、出口入試広報部教頭を高等学校教頭・入試広報担当教頭兼務、そして吉田指導教諭を管理職として新たに上席指導教諭に任命し、森川高等学校教頭、吉田事務長は継続し、以上の管理職10名により校務運営にあたった。

管理補佐職は近藤中学校教頭補佐、小林入試広報部教頭補佐、早川事務長補佐の3名は継続し校務運営の強化を図り、教職員への指導育成を重視して更なる「学校改革」を推し進めていった。

6. 学校行事

令和5年度は、前年度から準備を進めてきた令和5年4月30日に盛大に開催した開校100周年記念奉祝祭・式典・祝賀会からのスタートとなった。

3年前から影響が続いてきた新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症への移行に伴い、感染状況を注視しつつも「高校伊勢修養学舎」、「中学校伊勢HR合宿」、そして「秋季例祭・浪速祭」、「新春拝賀始業式」をはじめ、その他多くの主要な行事が、4年振りに簡略・縮小化することなく本来の形で実施することができた。

また、昨年再開した「高等学校耐寒訓練」「高校海外語学研修」「エンパワーメントプログラム」「夏期特別選抜合宿(高校3年生対象)」に加えて、今年は「合唱コンクール」「中学校耐寒金剛山登山」を再開し、高校「陸上競技大会」は新たな試みとなる「体育祭」として初めて実施した。

そして、「中学校修学旅行」は鹿児島県の知覧・指宿・屋久島コースを4年振りに実施し、「高校修学旅行」は浪速国際コースの「フィリピン英語研修」と国内6コースで実施した。更に令和6年度の「高校修学旅行」は以前のように海外主体のコース設定で計画し、既に現地視察等の準備を行った。

7. 生徒指導上の目標

令和5年度も前年度に引き続き、「教科指導」並びに「生活指導」を重要課題と位置づける。

「教科指導」に関しては、より付加価値の高い教育の提供のために教員一人一人の質的向上を目指し、更なる「教員の指導力向上」を図り、「浪速の教育力」を確固たるものにする。また、学習指導要領改訂に向けて「主体的・能動的な学習」ができる生徒育成を目指して、「ICT教育推進部」主導によりタブレットや電子黒板等のICT機器によるweb教材やメディア教材を用いた主体的教育を本格的に実践していくと同時に、より効果的な活用方法の研究を進めていった。

「生活指導」に関しては、近年、社会において説明責任、危機管理等の実践が様々な場面で問われる時代であり、保護者・生徒に対する本校の姿勢・指導方針の説明・浸透が大切である。また、学習指導要領改訂に向けて「学びに向かう力・人間性の涵養」「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」といった新しい時代に必要な資質・能

力の育成が問われる教育現場において、基本的な人間力の育成が生徒指導の根本と考える。特に、モラル、コミュニケーションの低下による「いじめ問題」「いじめ行為」の早期発見早期指導を充実させ「思いやりの心」「協調性」「感謝する心」を育てる指導を目標に、「生徒の言動に注意を払い見守るやさしさ」と「駄目なものは駄目である」という強い姿勢を持って、全教職員が一致団結して生徒指導に取り組んだ。

IV. 財務の概要

1. 令和5年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

2. 資金収支

収入の部は、生徒等納付金収入 1,550 百万円（対前年比+120 百万円）、志願者数 2,675 名（高校 2,292 名、中学校 383 名）による手数料収入 51 百万円、補助金収入 1,224 百万円（対前年比+67 百万円）、入学手続き者数 1,107 名（高校 966 名、中学校 141 名）による入学金前受金収入 216 百万円（対前年比+16 百万円）、新校舎建設引当特定資産取崩収入 231 百万円、前年度繰越支払資金 359 百万円等で、収入の部合計 4,495 百万円（対前年比▲802 百万円）となった。

支出の部は、今年度は開校 100 周年記念事業関連支出として、教育研究経費支出・管理経費支出より奉祝金、記念式典開催経費等で総額約 110 百万円を支出した。

また設備投資については、施設関係支出において、中学校棟建設工事に係る支出 385 百万円を含め 410 百万円を支出した。

そして、令和 6 年度末の中学校棟竣工を見据えて、資産運用支出において、減価償却引当特定資産繰入支出 100 百万円、さらに新校舎建設引当特定資産繰入支出 300 百万円の積み増しを行ったうえで、翌年度繰越支払資金は 584 百万円となった。

3. 事業活動収支

事業活動収入計 2,922 百万円（対前年比+167 百万円）から事業活動支出計 2,495 百万円を差し引いた基本金組入前収支差額が 427 百万円となった。今年度は中学校棟建設における工事費等の支出に伴い基本金組入額合計▲466 百万円を計上した結果、当年度収支差額▲40 百万円となり、前年度繰越収支差額▲2,044 百万円を通算し翌年度繰越収支差額は▲2,084 百万円となった。

4. 貸借対照表

資産の部合計は 14,406 百万円（対前年比+438 百万円）、これより負債の部合計 725 百万円を差し引いた本年度の資産総額（差引正味財産）が 13,681 百万円（対前年比+427 百万円・103.2%）となり、平成 28 年度から 8 期連続で 100 億円の大台を維持し、過去最高を更新した。

以 上